日程:6月26日(金)出発 3泊4日

伊江島•辺野古•高江

沖縄連帯・支援ツアー



キャンプ・シュワブゲート前 抗議行動

旅行費用:75,000円

(朝食3回/昼食1回/夕食2回付)

申込締切:5月30日(土)

添乗員: 伊丹空港より同行

月日	行程							
1)	10:15 伊丹空港集合							
6/26	11:15 伊丹空港を全日空 765 便で出発 *機内で各自昼食							
(金)	13:25 沖縄那覇空港着 貸切バスで本部港へ							
	17:00 本部港からフェリーで伊江島へ							
	17:30 伊江島着							
	徒歩で民宿へ移動 2ヶ所に分かれて宿泊							
_	昼食各自夕食民宿/宿泊:伊江島民宿:2~3名/1室							
2	伊江島島内を島の方の案内で見学							
6/27 (土)	★ ニヤティヤ洞 ★ 公益質屋弾痕跡							
	★ 反戦平和資料館「ヌチドゥタカラの家」資料館							
	★ 米軍基地 ★ 城山 等							
	16:00 伊江港からフェリーで本島へ							
16:30 本部港着 ホテルヘ								
	朝食民宿昼食伊江牛バーへキュータ食交流会(予定/費用別途)							
	宿泊:リゾネックス名護:4名/1室							
3	ホテル出発							
6/28	★辺野古にて連帯支援行動 ★高江にて8周年記念集会に参加							
(日)	タ刻 国頭村環境教育センターやんばる学びの森到着							
	朝食ホテル <u>昼食</u> 各自夕食学びの森/ 宿泊:やんばる学びの森:6名/1室(2段ベッド利用)							
4	やんばる学びの森出発							
6/29	★懇談/交流会 ★瀬長亀次郎「不屈館」見学							
(月)	16:00 那覇空港到着							
	16:55 全日空 770 便で伊丹空港へ							
	18:50 伊丹空港到着 朝食学びの森 昼食各自							

■宿泊追加料金について 3泊とも基本的に男女別の相 部屋となります(各施設の1室 あたりの定員は左表をご参照 下さい)。3泊ともツイン又はシ ングルをご希望の場合、追加 料金は以下の通りです。

ツインをご希望の方 追加料金/ 3,500円 シングルをご希望の方 追加料金/15,000円

*部屋数の関係でご希望に沿えない場合があります。

《申込方法》

下欄の申込書にご記入の 上、FAX又は郵送にて安保 破棄大阪実行委員会宛お申 し込み下さい。

安保破棄大阪実行委員会 〒543-0014

大阪市天王寺区玉造元町 17-22

tel:06-6763-3833 fax:06-6763-3836

anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp 担当:植田

キリトリ

旅行申込書 安保破棄大阪実行委員会宛(申込日

日)

★必要事項を記入の上、郵送・FAXでお送り下さい。

2015年6月26日(金)出発 沖縄連帯支援ツアー

FAX 06-6763-3836

ふりがな			性別		年齢	旅行出発時		
氏	 名			男	女			
								歳
住	所	T	宿泊希望欄(該当の場合は〇印をつけて下さい)					
			3泊とも ツインを希望(同室希望者:))
		電話番号()	3泊とも シングルを希望					

《お誘い》

伊江島、辺野古、高江とめぐる3泊4日の沖縄平和の旅。沖縄北部は自然の宝庫。世界自然遺産になってもおかしくない土地と空、海を米軍のオスプレイや強襲揚陸艦が縦横に戦争の出発地と訓練場になろうとしています。

辺野古新基地建設NOの沖縄県民と固く連帯する ためにも大阪安保の沖縄ツアーへぜひ参加をお願い します。

安保破棄大阪実行委員会

■旅行説明会のご案内■

日時:6月4日(木)午後6時30分

会場:大阪平和委員会

新谷町第三ビル2階 地下鉄谷町線谷町6丁目より徒歩5分

- * 旅行案内(コース・持ち物)
- *参加者交流
- *情勢説明



[訪問地紹介]

<伊江島タッチュー(城山)>

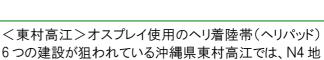


くやんばるの森>



<伊江島>本部(もとぶ)半島の北西9km にあり、島の中央にそびえる標高 172m の城山が特徴的です。戦時中に日本軍飛行場建設が行われたことから、米軍による攻撃・土地収奪が過酷を極め「沖縄戦・戦後沖縄の縮図の島」と呼ばれています。





日米両政府は 1 月 30 日の日米合同委員会で、N4 地区の 2 つのヘリパッドについてアメリカに提供することを確認し、近く閣議決定し、政府間協定の締結を経て引き渡すとしています。

区に2つのヘリパッドが完成しています。

しかし、高江に建設が狙われているヘリパッドは、1996年のSACO合意によって、米軍ヘリパッドが 7 つある北部訓練場の過半の返還と引き換えとされてきたものです。もし、返還がおこなわれないまま、高江につくられたヘリパッドが米軍に提供され、使用されれば、ヘリパッドは増える一方ということになります。東村高江の「ヘリパッドいらない住民の会」はこのようなやりかたに強く抗議しています。



Manhoes Garage

<高江座込みテント前>